

目的 一般に身体像に対する評価は、視覚を通してなされる。そこで、女子のシルエット写真を用いて、その肥瘦度、姿勢について視覚から得られる直観的な印象を求め、それにより魅力的な体型の特徴および、魅力を判断する上で重要視される身体特性について検討した。

方法 視覚のみの観察で、19才・20才女子のシルエット写真900体の肥瘦度(やせ—太り)と姿勢(良い—悪い)の印象をSD法により求め、それにより体型分類をおこなった。更に、分類されたモデル体型について、観覧者80名に身体の魅力度に関する調査をおこなった。すなわち、30項目の身体特性について、SD法により調査した。

結果 肥瘦度と姿勢により、12体型に分類することができた。次に、各体型より順位法により、2体ずつのモデル体型を得て、魅力度調査にあてた。

最も魅力的とされた体型は、やや痩せていて、姿勢のやや良い体型であったが、肥満度が高くなるに従って魅力度の得点は下がった。魅力度と相関の高い身体特性は、各体型ともプロポーションと脚線美であった。因子分析の結果、最も魅力的とされた体型は第1因子、幅のプロポーション、第2因子、魅力度、第3因子、丈のプロポーション、第4因子、側面のシルエットからなることがわかった。